

桜ヶ丘病院を報誌

さくらそう



人の役に立たなきや・・・？



群盲象を評す



「私たちの病棟」について



さくらニュース



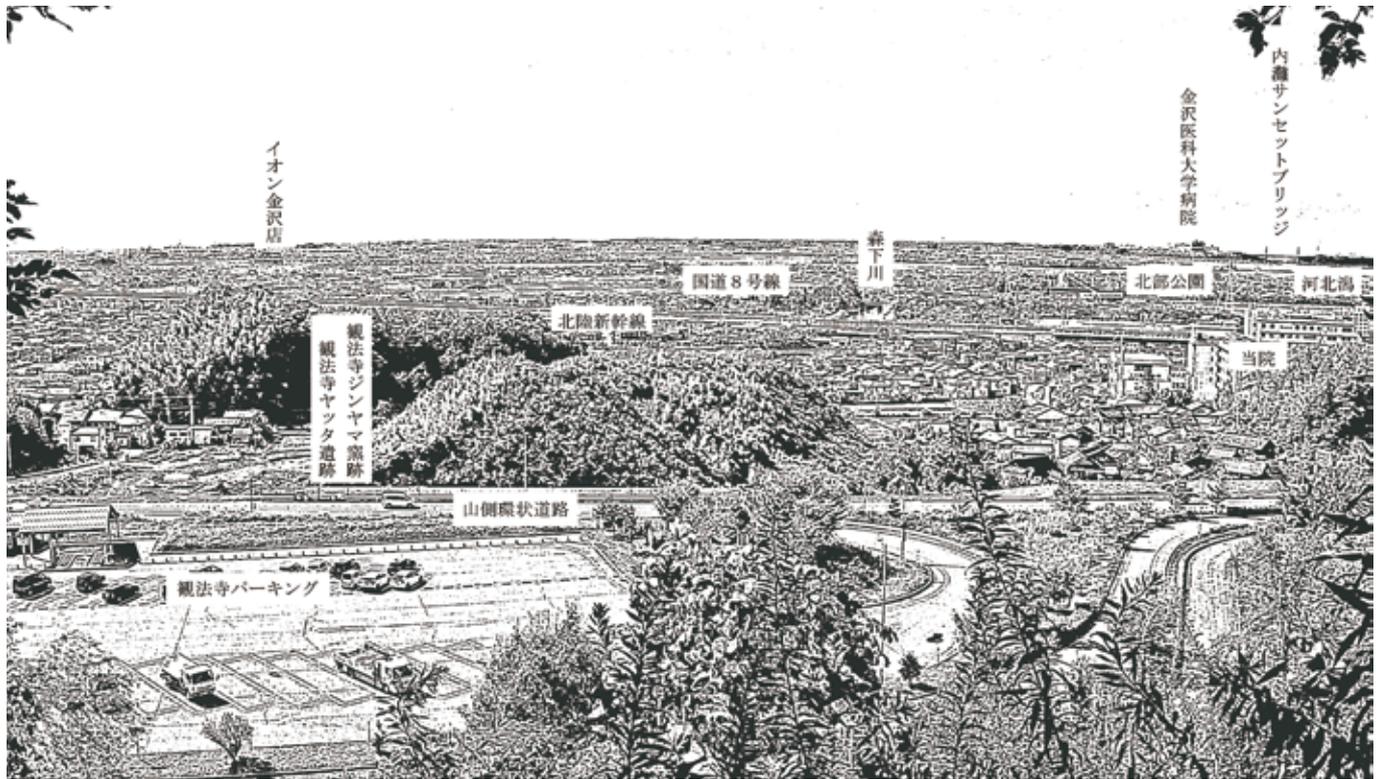
桜ヶ丘病院
Sakuragaoka Hospital

最新ニュースもチェック▼
桜ヶ丘病院スタッフブログ

<http://e-sakurahp.com/staffblog/>



観法寺パーキング



今冬の表紙 ～観法寺パーキング～ (所在地: 金沢市観法寺)

当院前から車で、観法寺北交差点を右折、梅田インターを直進し金沢東部環状道路(山側環状道路)に入ると間もなく観法寺パーキングエリアがあります。

のと里山海道白尾ICから今町ICまでの国道159号月浦白尾連絡道路12.3km、今町IC～鈴見までの金沢東部環状道路(山側環状道路)9.4km間では唯一のパーキングエリアです。交通規制により鈴見方面(金沢森本IC方面)からは利用できませんが、トイレと身体障害者用駐車スペースを備えた駐車場があります。

河原市用水沿いを右回り上流方面へ観法寺会館前を通っても、左回り下流方面に第二千木苑前を通る道を通っても、約1kmの道のりです。このあたりからは当院の建物が同じ高さに見えますから、標高差は30m程はあるでしょうか。

パーキングエリアの西側には、古代から中世にかけての集落跡「観法寺ヤツタ遺跡」、7世紀後半に瓦と須恵器を焼いた「観法寺ジンヤマ窯跡」があり、パーキングエリア周辺から遺跡付近の様子をちょっと伺うことができます。

昨年平成30年に(公財)石川県埋蔵文化センターによる発掘調査では、「観法寺ヤツタ遺跡」から掘立柱建物、溝、河道などが確認され、「観法寺ジンヤマ窯跡」には丘陵斜面をトンネル状に掘り抜いて作られた「あながま」が見つかり、まっすぐに立ち上げた排煙口や比較的良好な状態の窯壁が残り、窯内からは多くの瓦や須恵器が出土したとのことでした。

このパーキングから行き交う車や北陸新幹線を眺め、古代人や飛鳥時代の人々の暮らしに想いをはせるのも、ちょっと愉快かも知れませんよ。

参考: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

<https://ja.wikipedia.org/wiki/観法寺パーキングエリア>

平成18年度 金沢河川国道事務所 記者発表資料

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h18/p0725.html

公益財団法人 石川県埋蔵文化センターHP <http://www.ishikawa-maibun.jp/>



人の役に立たなきゃ…?

いきなり、エラそうなことを書きますが…人の一生は「何をしたか?」ということで評価されたりします。その中でも特に「人のために何をしたか」「人の役に立つことをしたか」が重要視されがちです。

ひょっとしなくても「人の役に立つことは素晴らしい」というのは、この世の中では、一番輝ける価値観かも知れません。

「私はちゃんと仕事をして、販売を倍にして、1%しかなかった営業利益を6%に向上させ大いに儲けて社会の役に立っている。高額報酬を受けとって恥じることはない。」と言ったかどうか…なんとか取引法違反で罪を問われた方がいますが…、「人の役に立っていること」が免罪符になったりします。

この免罪符、もとは中世末期にカトリック教会が善行(献金など)を代償として信徒に与えた一時的罪に対する罰の免除証書で、教会の財源増収のため乱発され、後にルターによる「宗教改革」へとつながるのですが、日本では「牛に引かれて」の善光寺に「お血脈」というのがあります。もともとは1783(天明3年)の浅間山大噴火の被災地の惨状を目にし食料の調達に奔走し金銭を施し、被災者救済に尽くした善光寺別当大勧進第79代貫主「等順」が被災者のために儀式を簡略化して授与した「血脈譜」が評判を呼び、落語「お血脈」になりました。

その落語「お血脈」ですが、善光寺に浄財を捧げ、額に「お血脈」のハンコを押してもらおうと「どんな罪を犯していても極楽浄土への往生ができる」というので善光寺は大賑わい、その影響で地獄は空前の財政難に…、冥界の王「閻魔大王」が部下の鬼から意見を聞き取り入れた地獄のV字復活の為の復活案が「コストカット」ならぬ、天下の大泥棒「石川五右衛門」を登用して善光寺の「お血脈」を盗み出させる案。さすがの石川五右衛門「お血脈」を難なく盗み出し、「ありがたやぁ」と「お血脈」のハンコを自分の額に押して頂いて、そのまま極楽浄土に行ってしまう地獄の復活はならずというオチであります。

それはそうと、「人の役に立つことは素晴らしい」は本当にそうなのか?…たしかに素晴らしいですが、「人の役に立たないことは良くないこと?」となって「役に立たないものを責める」気持ちに繋がったらどうでしょうか?

私たちの周りには、病気や障害を持っているために社会保障を受けとる側の生活を余儀なくされている方もいます。中には病気や障害を持ちながら頑張って生きて人に勇気を与えている方もいます。でも、そんな言い方をしてまで人の役に立っていることを示さなければならないのでしょうか?

二十歳のときに難病「潰瘍性大腸炎」になり、十三年間、病院のベッドでの闘病生活を余儀なくされ、悩み苦しんだ時に救いとなった言葉を「絶望名言」と名付けて、NHKのラジオ深夜便で絶望に効く数々の名言集を紹介している文学紹介者の「頭木弘樹(かしらぎひろき)」さんは、フランスのルネサンス期の代表的哲学者「ミッシェル・ド・モンテーニュ」の「随筆」を「エッセー」と呼ぶ事になった代表作「エッセー」からつぎのような文章を紹介しています。

“われわれは大馬鹿者である…だからこんなことを言う。「あの人は生涯を無為のうちに過ごした」「私は今日何もしなかった」

なんだと!…あなた方は生きたではないか。それがあなた方の仕事の根本であ

るばかりでなく、最も輝かしいものではないか。”

この文章を頭木さんはつぎのように説明しています。

“今日なにもしなかったとしても…、それどころか、一生何もしなかったとしても…それでも生きてきたわけだから、それだけでも輝かしいではないか…それを虚しいことのように言うのは、間違っている。大馬鹿者だ！”



まあ、とにかくそんなこと気にせず生きてもいいではないですか！

NHKラジオ深夜便の人気コーナー「絶望名言」が書籍化されました。絶望の淵に立っているとき救いとなるのは、明るい言葉ではなく、絶望の言葉だと思います。



頭木弘樹(著), NHK<ラジオ深夜便>制作班(著)
NHKラジオ深夜便「絶望名言」 2018/12/11出版

記事: コープランドセンター認定WRAP®ファシリテーター
(一社)日本精神科看護協会 精神科認定看護師 藪 一明

「私たちの病棟について」

2-1 病棟編

2-1病棟は、vol.31で紹介のあった1-1病棟と同じ認知症治療病棟です。患者さんの平均年齢は80.8歳で、認知症による心理・行動症状のため療養を必要とする方が、約50名程療養生活を送っています。

入院すると今までとは違う生活リズムで療養しなければならなくなりますが、入院が必要な認知症の方の中には、その生活リズムの変化への対応が難しく、それが認知症による心理・行動症状につながっていることがあります。時には、体の不調を上手く伝えられないこと、自分の気持ちを上手く伝えられないことがあります。1人1人の生活習慣・現在の思い・現在できることを聴き、一緒に考え対応することを目指して、患者さんが生き生きと療養生活を送れる病棟を目標に掲げています。

今年、病棟ナースが1名日本看護協会認定の認知症看護認定看護師の資格を取得しました。認定ナースが中心となって今までよりも詳しく認知症を知り、患者さんへの関わりも、認定ナースを手本とすることにより1人1人の個性を大切にできる場面が増えてきたかなと思います。

自宅や施設で生活していた際に、いわゆる問題とされていた行動でも、じっくり関わればその人の思いが見えてきます。表面的な言動にとらわれず、患者さんの真のニーズをどうしたら理解することが出来るのか、認定ナースにコツを教えてもらいながらスタッフ全員で頑張っています。患者さんから「あなたがいてくれて良かった」と言っていたくことがあります。患者さんと喜びを分かち合い、認知症になっても自分らしく生きることを病棟スタッフ全員で支えていけるように、これからも頑張っていきたいと思います！





群盲象を評す

新年あけましておめでとうございます。

精神科AM(アンガーマネジメント)看護師の袋井修平です。

「群盲象を評す」(ぐんもうぞうをひょうす)

「6人の盲目とゾウ」の寓話をご存知ですか？

ジャイナ教の伝承では、6人の盲人が、ゾウに触れることで、それが何だと思うか問われる形になっています。

“ 足を触った盲人は「柱のようです」と答えた。
尾を触った盲人は「綱のようです」と答えた。
鼻を触った盲人は「木の枝のようです」と答えた。
耳を触った盲人は「扇のようです」と答えた。
腹を触った盲人は「壁のようです」と答えた。
牙を触った盲人は「パイプのようです」と答えた。
それを聞いた王は答えた。

「あなた方は皆、正しい。あなた方の話が食い違っているのは、あなた方がゾウの異なる部分を触っているからです。ゾウは、あなた方の言う特徴を、全て備えているのです」

この話の教訓は、同じ真実でも表現が異なる場合もあることであり、異なる信念を持つ者たちが互いを尊重して共存するための原則を示している。”

Wikipediaより引用

このお話の教訓は、真実には様々な側面があり、解釈も様々。自分が本当に正しいと思っても、実は全体の一部であり、全体の把握には至っていないケースがあるということではないでしょうか。

仕事でも家庭でも同じようなことがあると思います。今一度、自分の判断や評価を客観的に捉える意識を持つ必要がありますね。自分勝手な不要な思い込みからのトラブルは避けたいものです。自分の感情に責任をもって行動していきたいですね。



記事：看護師、CVPPPトレーナー、アンガーマネジメントファシリテーター、
アンガーマネジメントキッズインストラクタートレーナー、
アンガーマネジメントアドバイザー 袋井 修平

★ TOPIC 3 ★

観法寺町の秋祭りに参加させて頂きました。

平成30年10月8日(月・祝)、観法寺町の秋祭りに参加させて頂きました。当院では月に一度、観法寺町の地域住民の皆さんを対象に、『いきいき健康教室』という健康促進を目標とした講習会などをさせて頂いております。そのご縁から、ありがたいことに観法寺町の秋祭りにもご招待頂いております。秋祭りでは、当院の作業療法で患者さんが作られた作品をバザーとして、地域の方に販売させて頂いております。また、今回は当院のレクリエーションで使っている、ジャンボジエングを地域のお子さんと一緒に楽しみました！患者さんに取って、頑張って作った作品を喜んで使ってもらえることは、大きな自信の回復につながります。地域の方々のおかげを持ちまして、大変盛況なバザーとなりました。

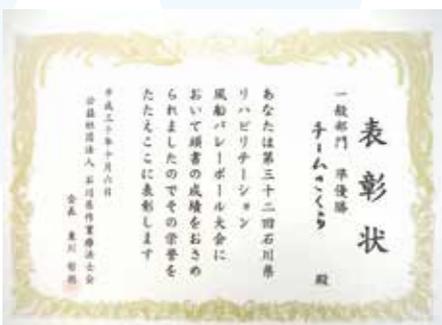
また、地域の皆さんに交じり、ビンゴ大会にも当院の患者さんとスタッフも一緒に参加させて頂きました。お子さんもたくさん参加されている、活気のある秋祭りにとっても心が癒されました。



★ TOPIC 4 ★

第32回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会に参加しました！

平成30年10月6日(土)、いしかわ総合スポーツセンターにて、石川県リハビリテーション風船バレーボール大会が開催されました。風船バレーは障害や年齢を問わず参加できる素晴らしい競技であり、参加する患者さん達も毎年楽しみにされています。今回も当院から『チームさくらんぼ』と『チームさくら』の2チームが大会に参加しました。熱戦に次ぐ熱戦が繰り広げられ、今回は『チームさくら』が準優勝という好成績をあげることができました。優勝できなかったことは残念でしたが、患者さん達は清々しい表情をされており、『来年は優勝するぞ!!』と前向きに励ましました。今回もたくさんの元気を頂ける貴重な機会となりました。



★ TOPIC 5 ★

当事者さんのピア活動

さる11月、公立小松大学 保健医療学部 看護学科学部 長・学科長 北岡和代教授が担当する、こまつ市民大学健康100年「そくさい」プロジェクトの2回目の講座にゲストスピーカーとして、当院利用者の九澤さんが当事者としてのご自分の立場から、意志の弱さの問題と間違っ理解されているアルコール依存症について、普通の暮らしをしている普通の人が、アルコール依存症に苦しむのだから、これまでの自分の生活を振り返って、語ってくださいました。当日は、50名以上の受講生が出席、質問もいくつが出て、関心の高さを感じました。九澤さんありがとうございました。



(ご本人の希望により、名前を掲載しています。)

★ TOPIC 6 ★

地域住民の皆さん対象の『いきいき健康教室』継続して行っています。

観法寺町のいきいき健康教室では、10月「糖尿病ってどんな病気?」について、11月「認知症予防にチャレンジ! 脳のトレーニングなど」について、12月「75歳が老化の節目!? 超高齢化社会で変わる病気の常識について」についてお話をさせて頂きました。いきいき健康教室は、私たち病院職員が地域住民の皆さんの声を直接聞ける貴重な時間です。これからも地域住民の皆さんと一緒に笑い成長できる時間になりたいと思います。



さくらニュース

★TOPIC.1★

デイケアさくらんぼまつりを開催しました。

平成30年11月14日(水)、デイケアさくらんぼでは8年ぶりとなる「さくらんぼまつり」を開催しました。1階では日頃利用者メンバーの皆さんが楽しんでいるゲームを体験しての福引、音楽好きのメンバーがパソコンを駆使して皆さんのリクエストにこたえる「ジュークボックスコーナー」や「バザー」、達人メンバーが作ったマスコットなどの小物類、メンバーが育てた植物やメンバーさんが収穫して包装したホウレンソウの「即売コーナー」、2階の「喫茶コーナー」では、飲み物の他にケーキ、手作りのデザートや、地元の和菓子店で作って頂いた特製のお饅頭をお抹茶で頂く「呈茶席」も設けました。準備や周知を十分にできなかったのですが、他のデイケアメンバーや、ご家族の方々、病棟に入院中の方々のご来場もあり、デイケアでの活動を知って頂くきっかけになったかと思えます。

日頃は利用する立場のメンバーさん、この日はお客さんを迎える立場で、緊張しながらも一日頑張ってください、次回の開催にむけて色々な気づきやアイデアを出していただきます。

ご来場いただいた皆様、協力いただいたデイケアメンバーの皆様、誠にありがとうございました。



たくさんの方に来場いただきました。



デイケア秘蔵のマスコットたちも次々にお嫁に行きました。



メンバー手作りの小物類では来年の干支のイノシシが大人気



2階の喫茶コーナーでは呈茶席も設けました。

★TOPIC.2★

平成30年10月20日(土)に桜フェスタ(文化祭)を行いました。

ご家族・地域住民の皆さんに病院のことをもっと知って頂く機会として桜フェスタを行わせて頂きました。

今回の桜フェスタも、作業療法の活動で作った手芸作品のバザー、デイケアによる喫茶コーナー、地域住民の方々のちぎり絵コーナー、ゲーム体験コーナーなど手作りの暖かな雰囲気にする事ができました。

今回もリハスファーム(就労継続支援B型事業所)さんが桜フェスタに参加頂き、河北潟で育てられた自然栽培ハーブや能登ヒバを使用したはがきやしおりなどの販売を行って下さいました。

また、デイケア楽器クラブのチェリーズ4による演奏やボランティアによるバンド演奏・マンドリン演奏などもあり、例年以上に盛り上がり活気のある桜フェスタとなりました。

今回もたくさんのご家族や地域住民の皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。ご協力頂きましたボランティア、リハスファーム(就労継続支援B型事業所)の皆さまありがとうございます。そして、たくさんの方の病院職員の力と『何より患者さんの大きな力』に感謝しております。今年もよろしくお願致します。



病院理念

精神科専門病院として、心のケアから高齢者医療にいたるまで、心のこもった医療を行います。

基本方針

- 1) 優れたスタッフを育成し、質の高い医療を提供します。
- 2) 安全性、信頼性を常に考え、十分な説明と理解と同意に基づいて治療を行います。
- 3) 地域医療の発展に貢献する病院を目指します。

患者さんの権利

- 1) あなたは、良質な医療を受ける権利を持っています。
- 2) あなたは、医師、病院を自由に選択する権利を持っています。
- 3) あなたは、十分な説明を受けた後に、治療を受け入れるか、または拒否する権利を持っています。
- 4) あなたは、ご自身の情報を得る権利を持っています。
- 5) あなたは、ご自身の情報について守られる権利を持っています。
- 6) あなたは、健康教育を受ける権利を持っています。

※なお、皆さんは権利とともに義務も発生いたします。

入院生活を送っていただくうえでは必ず病院規則はお守り下さい。



《外来診察スケジュール》

診察時間	診療科目	月	火	水	木	金	土	
午前 (9:00~12:00)	精神科	一診	岩崎	橋本	林	南野	天野	南野
		二診	眞舘	眞舘	眞舘			康山
		三診						
	内科		内科医					
	午後 (13:30~17:00)	精神科	一診	中川	中川	天野	岩崎	林
			二診	康山				
内科								

《外来受付時間》

○ 初診 午前 8:30~11:00 午後 13:00~16:00
 ◎ 再診 午前 8:30~11:30 午後 13:00~16:30

・初診の場合は、待ち時間短縮のため、必ず前日(土・日・祝日を除く)までに「地域連携室」にご連絡下さい。

医療法人社団浅ノ川



標榜診療科 精神科 内科 歯科

●精神科デイケア・デイナイトケア 「さくらんぼ」
 ●グループホーム 「プリムラ」「ハイツ北金沢」

TEL:076-258-1454

〒920-3112 石川県金沢市観法寺町へ174番地